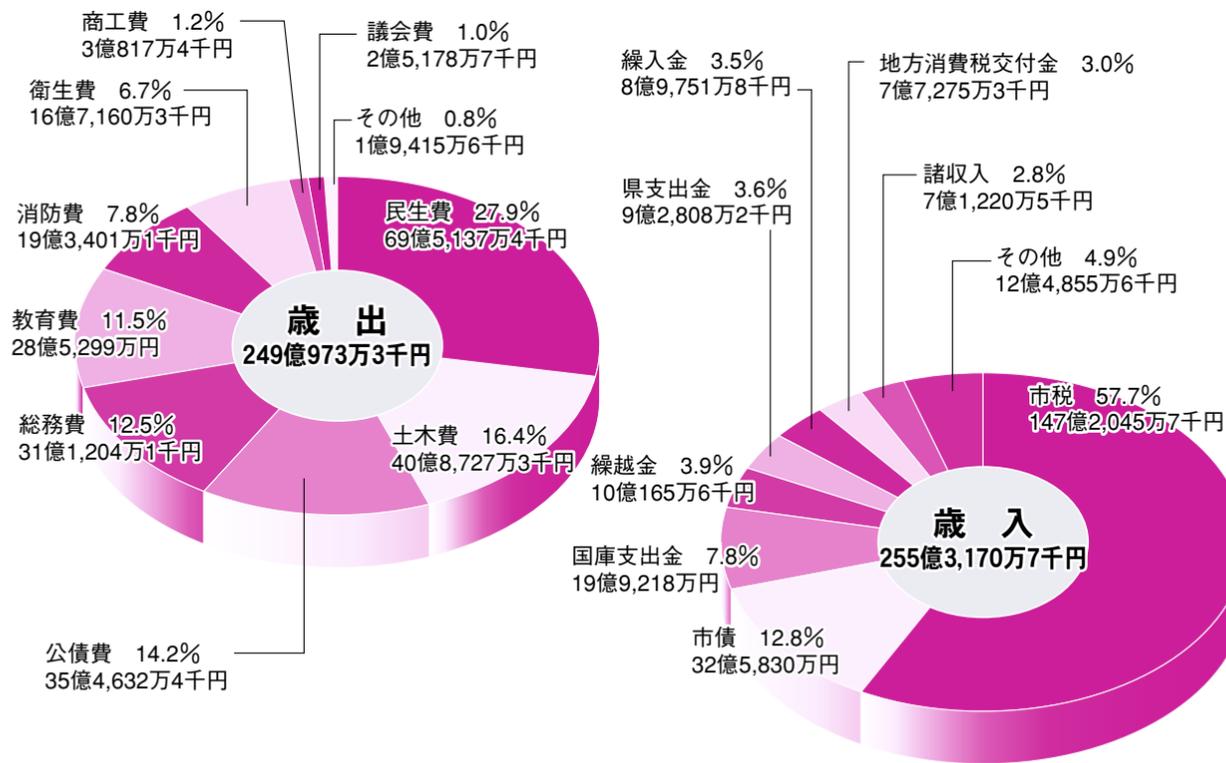


# 平成20年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要



平成20年度八潮市一般会計歳入歳出決算の歳入総額は、255億3170万7千円、歳出総額は249億973万3千円で、歳入歳出差引額は、6億219万7千4百円でした。

また、歳入歳出差引額から、翌年度への繰越財源53億59万3千円を差引いた実質収支額は、5億683万8千円、単年度収支額は、4億1230万8千円のマインナスでした。

なお、平成20年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要と討論（要約）については次のとおりです。

## 反対討論（日本共産党）

平成20年度当初予算時には、原材料の値上がり等で厳しい営業を強いられ、中小零細企業の紹介をしましたが、昨年末以降、雇用情勢も急激に悪化を続け、非正規労働者に加え、正規労働者に対しても、希望退職や工場閉鎖・遠隔地転勤などで離職せざるを得ない状況に追い込まれています。

決算の歳入、個人市民税は、納税義務者数は増えているものの平均所得割額は、前年より低く、県内40市中33番目で、八潮市民の厳しさが見えます。法人市民税でも、課税社数はふえているが、収入額は前年度比マイナス11%で、依然として企業も厳しい状態が続いていると思います。私達が行ったアンケートでは、「生活が苦しくて税金を納めるのが大変」との声が多く寄せられています。しかし、厳しい生活状況の中で必死に税金を納めていることは、個人市民税では94.8%、法人市民税では99.3%という取納率からも明らかで、大切に使用されてはなりません。

市負担分が軽減された子ども医療費無料化の拡大、介護保険料・利用料軽減対象を当面特例第4段階まで拡大するなどの市民生活重視の施策への対応を求めます。

## 賛成討論（自民クラブ）

歳入では、市税確保が極めて厳しい環境の中、前年度並みの

税収となったことや市税全体の取納率が90%台を確保できたことは徴収体制の整備が図られた結果によるものと一定の評価をするものであります。

歳出では、予算化された事業を効率よく執行し、更に経費削減が図られたことが認められます。主要な事業は、駅周辺整備関連事業として南部地区土地区画整理事業への負担金を始め、バスシエルトー整備工事などに着手。また、北部地区のまちづくりの方向性を検討する基礎資料調査を行いました。福祉関係では、後期高齢者医療制度の運用経費の負担、障がい者の地域生活を支援する福祉サービス事業の充実が図られています。防災関係では、地域自主防災組織の育成と強化を図る補助事業や洪水ハザードマップを作成し全戸に配布。環境関係では、環境基本計画が策定され、商工振興関係では、工業振興基金が設置されました。土木関係では、道路維持管理及び水路整備など市民要望に対応しております。消防関係では、消防団ポンプ車・高規格救急自動車の整備を始め、新消防庁舎建設事業など、計画的に事業を実施しています。教育関係では、学校施設の改修工事や耐震補強が実施され、英語学習の研究・実施等、学校教育の充実を図っております。

以上、予算の適切な執行が行われたことに対し評価するものであり、平成20年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定について賛成といたします。

## 学校給食の改善を求める請願書

### 請願趣旨

学校給食の担う役割は、単に栄養をとるだけでなく、食べ物を味わう感性を育て、食事を楽しみながら人間性や人間関係を育て、「食」に関する情報や考え方を学び、日本の食文化を教えるなどとても重要です。平成17年に「食育基本法」が施行され、「食育」に対する関心は年々高まり、食の安全・地産地消の理解・マナーの習得や感謝の気持ちを育てるなど給食の担う役割も大きくなってきています。

八潮市で学校給食を実施して30年になります。この間ずっと変わらずに民間委託での学校給食を行って来ていますが、時代の変化や要請とともに見直さなければならぬ部分もでてきています。食材は安心なのか、配膳まで廊下に置いておくシステムで安心なのか、作っている人（生産・調理）も匂いも感じられずに食べるだけなのか。「子どもたちの健やかな成長と豊かな未来」のために、年間およそ190食を食べる学校給食の改善を求めます。

### 請願項目

- 1 民間委託の見直し
- 2 食材の産地明確化
- 3 さらなる地場産食材の活用

上記地方自治法第124条の規定により請願いたします。

### 請願者

埼玉県八潮市八潮4丁目16-23

八潮母親大会実行委員会代表 小宮 弘子

### 賛同者

2448名

※右記請願書については、本会議での採決の結果、一部採択（請願項目のうち2と3を採択）と決しました。



### 用語 請願とは

請願は、市民の皆さんが、市政などについて直接、市議会に要望できる制度です。受理した請願はまず、本会議に上程し、委員会ですべて審査します。次に本会議で採択するかどうかなどの結論を出します。